



映画やドラマのロケ地誘致にむけ活動中

# 映画でまちを盛り上げたい

昨年3月に発足した「そうじゃフィルムコミッション」。その名のとおり、映画やドラマのロケの誘致に取り組み一方、多くの人にこの活動を知ってもらおうと呼び掛けを行っている。そのフィルムコミッションについて、同事務局の佐野秀人さんにインタビューした。

——フィルムコミッションとは何でしょうか。

**佐野** 映画やテレビ番組、コマースのロケの誘致に取り組み活動で、映像を通じて、総社を全国にPRしようとするものです。実際、ロケが決まれば、食事や撮影場所の使用許可などあらゆる面から後方支援を行います。

**総社で映画やテレビ番組の撮影をということですか。**  
**佐野** そのとおりです。積極的に誘致活動を進めるため、昨年3月に、市観光協会をはじめ、総社商工会議所、同青年

部、県、市、各種団体など20団体で構成する「そうじゃフィルムコミッション」を立ち上げました。

——何が期待できますか。

**佐野** ロケを誘致することで、まちのイメージアップ、文化の振興、地域の魅力の再発見につながると思っています。

——観光客の増加とか。

**佐野** そうですね。大河ドラマとか、ヒットした映画のロケ地には、その場所を一目見ようと観光客が押し寄せるといふことをよく聞いたり見たりしますよね。それに伴って発

生する経済効果にもつなげたと思っています。

——1年過ぎましたが、どんな状況ですか。

**佐野** 今年の3月に1件、映画の誘致ができました。それと、ロケ地の発掘のため、ロケ地フォトコンテストを3回実施しました。毎回多くの作品が寄せられ、感謝しています。

——今年はどうなことに取り組むのですか。

**佐野** 映像制作会社に総社を知ってもらおうロケ候補地紹介ブックの制作や、エキストラの募集などに取り組めます。

協力していただけると助かります。

——目指すところは。

**佐野** 私たちの活動とその意義を知ってもらうことが第一ですね。そして、映像製作会社と地域、地域と住民のつなぎ役が、フィルムコミッションの役割です。その役を果たし、映画でまちを盛り上げられたらと思います。



## ロケ地フォトコンテストの歴代最優秀賞

左から、第3回の岡城正義さん(岡山市)の「鬼ノ城」、第2回の道満多津子さん(西郡)の備中国分寺近くで咲き誇るレンゲと自転車道を撮影したもの、第1回の河野勤さん(中央二丁目)の「まちかど郷土館」。毎回多くの作品が寄せられる

——エキストラとは。

**佐野** ボランティアとして、映画やテレビ番組で、群衆や通行人などの役を演じる出演者のことです。登録をしておいたければ、総社での撮影でエキストラが必要になった場合、登録されている人に出演のお願いをします。

——エキストラの登録はどうすればできますか。

**佐野** そうじゃフィルムコミッションのホームページか、総社商工会議所や市商工観光課にある専用の登録用紙に記入することで簡単にできます。

——何人くらいを考えているのですか。

**佐野** 当面、10000人の登録を目指していますので、どんどん登録してください。

——活動を多くの人に知ってもらいたいですね。

**佐野** エキストラもそうですが、ロケ地に適当な場所の発掘もメンバーだけでは限りがあります。また、ロケの誘致も一朝一夕にはできず、息の長い活動として取り組んでいきたいのです。市民の皆さんにも、



フィルムコミッション活動を  
応援してください!

そうじゃフィルムコミッション  
佐野秀人さん (井尻野)



## エキストラ募集中

ホームページから登録できます  
<http://www.kibiji.ne.jp/sojafc/extra/index.html>

■そうじゃフィルムコミッションのお尋ねは、☎92-1122 (商工会議所内) まで